



アールスメア生花中央市場

オランダ・ベルギー・フランスの農業視察を十一月八日全国から総勢28名が参加し研修がスタートしました。オランダは、九州と同じ位の面積で国土の3分の1は水面下で埋め立てによる農地の拡大は目を見張るものがあり、13ヶ余に及ぶ潮受け堤防が海水の流入を防いでいました。

海外視察研修



# オランダ・ベルギー・フランスの農業事情



農振部会長  
大澤 徳次

世界一の花市場アールスメアは、切花から花木まで持ち込まれ、大型3.5m位のスクリーンに情報が流れ現物も台車のまま出され、すべてパソコン入力で競売されています。世界各国に輸出がされるNo.1のバラからアジサイへの切り替えも進んでいるようです。



収穫された砂糖大根



農家訪問

次は酪農家を視察。ここでは乳牛120頭と子牛、

続いて60haを自家有機肥料でジャガイモ、カリフラワー、人参などを栽培している典型的農家を訪問。ここでは搾乳ロボットが使われ搾ったアイスクリームやチーズなどを作り直売、2ha栽培のジャガイモもすべて300年使っている倉庫



300年使われている貯蔵庫

耕地90haで玉ネギなど根菜類を作り、乳搾りは搾乳ロボットで24時間可能。このロボット1台1400万(日本では3000万)だが2台ですべての搾乳ができる上に乳質や健康チェックまでできる優れたものだ。又牛糞の片付もロボットでやり餌もすべて自家で賄うが乳価が下がり経営は厳しいとのことでした。

## 農作業事故を防ぎましょう

農作業の事故で、トラクターや耕運機の事故が多く発生しています。下記に注意して安全な農作業を心がけましょう。

- 慣れた場所でも安全確認、片ブレーキによる急旋回をしない。
- ほ場退出時の前輪浮上をしない。  
作業機を下げ、傾斜に対して直角の向きで退出しましょう。
- 作業に行くときは、家族に声かけをしてから出掛けましょう。

暑い時期は休憩時間を多めにとり、水分補給をしながら作業をしましょう。



また、この国には日本人が6000人近く住んでおり欧州の中では多い方です。フランスへは特急列車(カリス)で行ったのですが乗り心地は良くありません

日本の農業のロボット化が遅れていると強く感じているべきものは多かったです。



パリの朝市

で貯蔵し自家販売とのことでした。

パリの朝市は180店位が露天商と言う感じで食料品から台所品まで売られパリ市民の台所を賄う重要な市場です。  
その他経済協力開発機構など3ヶ所訪問。高速道路は料金無料、上下6車線の道路で、日本の国道が高速道路になったと考えた方がわかりやすい。主要道路は農道からも入ることができ使い勝手がとても良い。